

TOWN TOPICS まちの話題

●身近で楽しい話題、
明るい話題待っています。

広報こまつしま 電話 32-3812



東日本大震災で被害を受けた子どもたちへ、
小松島市役所屋上で応援こいのぼりを掲揚



タケノコを丁寧に掘る児童ら



4/25

春の味覚を楽しもう 檜瀨小児童がタケノコ掘り

檜瀨小学校（竹内永子校長）で、恒例行事であるタケノコ掘りの体験授業が4月25日、同校付近にある学校林で行われました。この体験授業は、郷土の名産『タケノコ』を収穫することで、自然に親しみ生産の喜びを味わってもらおうことを目的としています。体験授業に参加したのは、同小学校4年生から6年生までの児童16名で、タケノコの掘り方などを教わった後、学校から50メートル程離れた学校林へ

移動。竹の香りが広がる竹林の中で児童らは額に汗をかきながら懸命にタケノコを掘っていました。1時間足らずの作業で、コンテナ4箱分（約60キロ）ものタケノコを収穫。収穫したタケノコを1年生から3年生までの児童13名も含め全員で学校まで運んで授業は終了。後日の給食でタケノコご飯として振る舞われました。



一生懸命田植えする児童たち



徳島赤十字病院では、利用されている方に同病院をより理解してもらうため、医療関係の講演会や医療相談を通じて職員との交流を図ることを目的に4月23日、第5回目の病院祭が催されました。『病気の予防』をテーマにした講演会や東日本大震災の医療救護活動報告会、お菓子バイキングなど様々なイベントがあり、訪れた来場者らで賑わいました。



血圧測定をする来場者ら

4/23

徳島赤十字病院で 第5回病院祭を盛大に開催

4/26

新開小学校で体験学習 昔ながらの田植えに挑戦

社会科の総合学習の一環として、新開小学校（中島公生校長）の1年生と5年生の児童計54名が4月26日、同小学校付近にある水田で昔ながらの田植えを体験しました。参加した児童らは、この体験学習をお世話する「地域の安全を守る会」の方から説明を受けた後、早速田植えに挑戦。歓声をあげながら素足で田んぼに入り、一列に並んで一本一本丁寧に手作業で苗を植えました。

植えた苗はコシヒカリで、約15アールの水田での作業。1時間後には立派な苗の列が完成。田植えを体験した川下凜子さんは「こけかけたけど、楽しかった。また田植えをしたい。」と顔をほころばせていました。この日植えられた苗は夏休み期間中に収穫する予定で、例年おにぎりやパトライスなどにするそうです。